

DX で目指す松本のまち

PART 2 スーパーシティ構想

●問い合わせ 総合戦略課（本庁舎3階 ☎34-3274 📠34-3201）

先月の広報紙で「宮之本副市長が語る～デジタル化とスーパーシティ構想～」として、スーパーシティ構想に応募する理由などを紹介しました。今回は、皆さんの疑問にお答えする形で、スーパーシティ構想について説明します。

スーパーシティ構想って何？

スーパーシティ構想は、特定のエリア内に限り従来の規制を大幅に緩めることにより、「地域振興」と「国際競争力の向上」を図ることを目的に創設された「国家戦略特別区域（国家戦略特区と略す）」の1つで、「スーパーシティ型」として位置付けられている取り組みです。

スーパーシティ構想では、地域の持つ課題を、最先端のテクノロジーによって解決し、住民の暮らしを豊かにする「まるごと未来都市」の実現を目指しています。

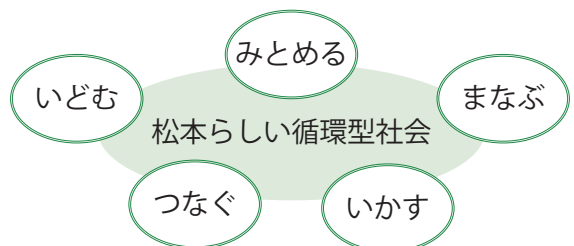
具体的には、「データ連携基盤」と呼ばれる仕組みを中心に、AIやビッグデータをはじめとする最先端技術を活用して、住民目線のサービスが提供される予定です。

国は、このスーパーシティ型の国家戦略特区を、来春、全国で5団体程度選定する予定です。



松本市総合計画

基本構想2030（素案）



第11次基本計画

実現に向けた分野別の計画

- 松本市商業ビジョン
- 松本市地域福祉計画
- 松本市農林業振興計画 など

一人ひとりが豊かさと幸せを感じられるまち

DX とスーパーシティ構想は何が違うの？

先月号で紹介したとおり、デジタルトランスフォーメーション（DX）は、デジタル技術を上手に取り入れながら、市民の生活を豊かにしていくもので、現在策定中の基本構想2030の理念に沿ったまちづくりを進めていくための、エンジンの1つです。

一方、スーパーシティ構想は、DXの取り組みの中で、規制緩和が不可欠なもののみ、国家戦略特区として申請するものです。

DX
（デジタル化）

エンジン

スーパー
シティ構想
【規制緩和】

松本市はDXやスーパーシティ構想で具体的に何を指すの？

松本市が抱える地域課題のうち、DXの推進が解決のカギとなるものについて、地域が持つポテンシャルとともに、地理的特徴を考慮しつつ、松本のマチガラに合うよう解決を図りたいと考えています。

そこで、DXで目指す松本のまちを5つの方向性に整理し、その具現化を2030年に向けた挑戦として位置付けるとともに、特に規制緩和が不可欠なものは、スーパーシティ構想の活用を目指します。

1 松本版PHR（※1）でつなぐ医療・福祉・健康づくりへの挑戦



健康寿命のさらなる延伸につなげる仕組みづくり

2 100%カーボンニュートラル（※2）への挑戦



市内で生産される再生可能エネルギーだけで自給自足できるまちづくり

3 世界水準の城下町まつもと・アルプスリゾートへの挑戦



複数の交通手段を円滑につなぐ移動サービスなど、快適に滞在できる仕組みづくり

※スーパーシティ構想の活用を目指します。

※1 個人の健康・医療・介護記録

※2 二酸化炭素の排出量と吸収量が同じ状態

4 楽しく稼ぐクリエイティブシティへの挑戦



人材とデジタル技術が融合することによる新たなビジネスづくり

5 可能性を広げる新しい学びへの挑戦



デジタル技術の活用により、多様な子どもに応じた最適な環境づくり

①～⑤をささえる

デジタル市役所

インターネットによる行政手続きやデータを活用した政策立案など、行政のデジタル化を推進

もっと詳しく知りたい場合は？

今後、市ホームページ（二次元コード）やYouTube松本市公式チャンネル、SNSなどで情報を発信し、広く意見をいただきながら、計画を磨き上げていきます。

また、市民の皆さんに直接説明をし、質問等に答えるため、市民説明会を開催する予定です。



市民説明会 開催予定 ※申し込み不要

日時	場所
1月17日(日) 午後3時～5時	勤労者福祉センター
1月18日(月) 午後7時～9時	安曇地区地域づくりセンター
1月19日(火) 午後7時～9時	松本市役所
1月21日(木) 午後7時～9時	奈川地区地域づくりセンター
1月25日(月) 午後7時～9時	芳川地区地域づくりセンター ※多事争論会
1月27日(水) 午後7時～9時	勤労者福祉センター